

～下田市の財政事情を公表します～

市民の皆さまに市の財政状況をお知らせするため、毎年6月と12月に財政事情を公表しています。これは、皆さまの税金や国、県からの交付金がどのように使われているかを示す、下田市の家計簿とよべるものです。

令和5年度決算 一般会計
 令和5年度は、歳入が約136億5,893万円、歳出が約128億9,400万円の決算となりました。繰越財源を除いた実質収支は約7億2,582万円となり、前年度の実質収支や財政調整基金の積立て・取崩しを加味した実質単年度収支では約1億4,478万円の赤字となりました。

都市計画税充当事業区分	事業費	都市計画税充当額	対一般財源の充当割合
都市計画事業	都市計画事業	1,631万円	330万円 100%
	街路事業	1,469万円	1,469万円 100%
	公園事業	459万円	459万円 100%
	下水道事業(繰出金)	1億6,002万円	3,831万円 23.9%
その他	土地区画整理事業 都市計画事業地方債償還額	4億3,895万円	9,972万円 25%
都市計画税充当事業計		6億3,456万円	1億6,061万円 27.6%

○都市計画税
 都市計画税は、都市計画事業・土地区画整理事業に要する費用に充てるための税です。

入湯税充当事業区分	事業費	入湯税充当額	対一般財源の充当割合
環境衛生施設	450万円	0万円 0%	
観光振興	1億6,043万円	8,022万円 76.2%	
消防施設等	1,540万円	0万円 0%	
地方債償還金	3,316万円	0万円 0%	
入湯税充当事業計	2億1,349万円	8,022万円 51.7%	

○地方消費税交付金
 平成26年4月1日と平成30年10月1日の計5%の消費税引き上げに伴う、地方消費税交付金の増額分については、社会保障施策(社会福祉・社会保障・保健衛生)に要する経費の財源に充てることとなっております。

地方消費税交付金(社会保障財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保障財源分)充当額	対一般財源の充当割合
社会福祉	15億2,118万円	8,611万円 20%	
社会保障	10億2,442万円	1億6,703万円 20%	
保健衛生	1億0,249万円	1,400万円 20%	
子ども子育て支援	2億8,470万円	1,645万円 20%	
地方消費税交付金充当事業計	29億3,279万円	2億8,359万円 20%	

○市債残高の内訳

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	342万円	443万円	148万円
下田駅前広場整備事業特別会計	951万円	949万円	812万円
公共用地取得特別会計	305万円	304万円	304万円
国民健康保険事業特別会計	30億7,181万円	28億0,996万円	27億5,879万円
介護保険特別会計	28億8,456万円	28億2,827万円	26億6,987万円
後期高齢者医療特別会計	4億2,859万円	4億1,879万円	4億1,366万円
集落排水事業特別会計	2,502万円	2,479万円	1,714万円

会計名	市債残高
一般会計	116億9,684万円
下水道事業会計	40億9,989万円
水道事業会計	32億1,387万円
集落排水事業特別会計	6,466万円
市債残高計	190億7,526万円

水道事業会計

資本的収支(税込)				収益的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	2億5,852万円	支出合計	5億3,564万円	収入合計	6億5,456万円	支出合計	5億6,678万円
企業債	2億4,920万円	建設改良費	3億9,285万円	営業収益	6億2,460万円	営業費用	5億2,574万円
出資金	0万円	企業債償還金	1億4,279万円	営業外収益	2,996万円	営業外費用	4,104万円
負担金・その他	932万円	その他	0万円	特別利益	0円	特別損失	0円

収支不足額2億7,712万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,362万円、当年度分損益勘定留保資金2億3,423万円、減債積立金取崩額927万円等で補てんしました。

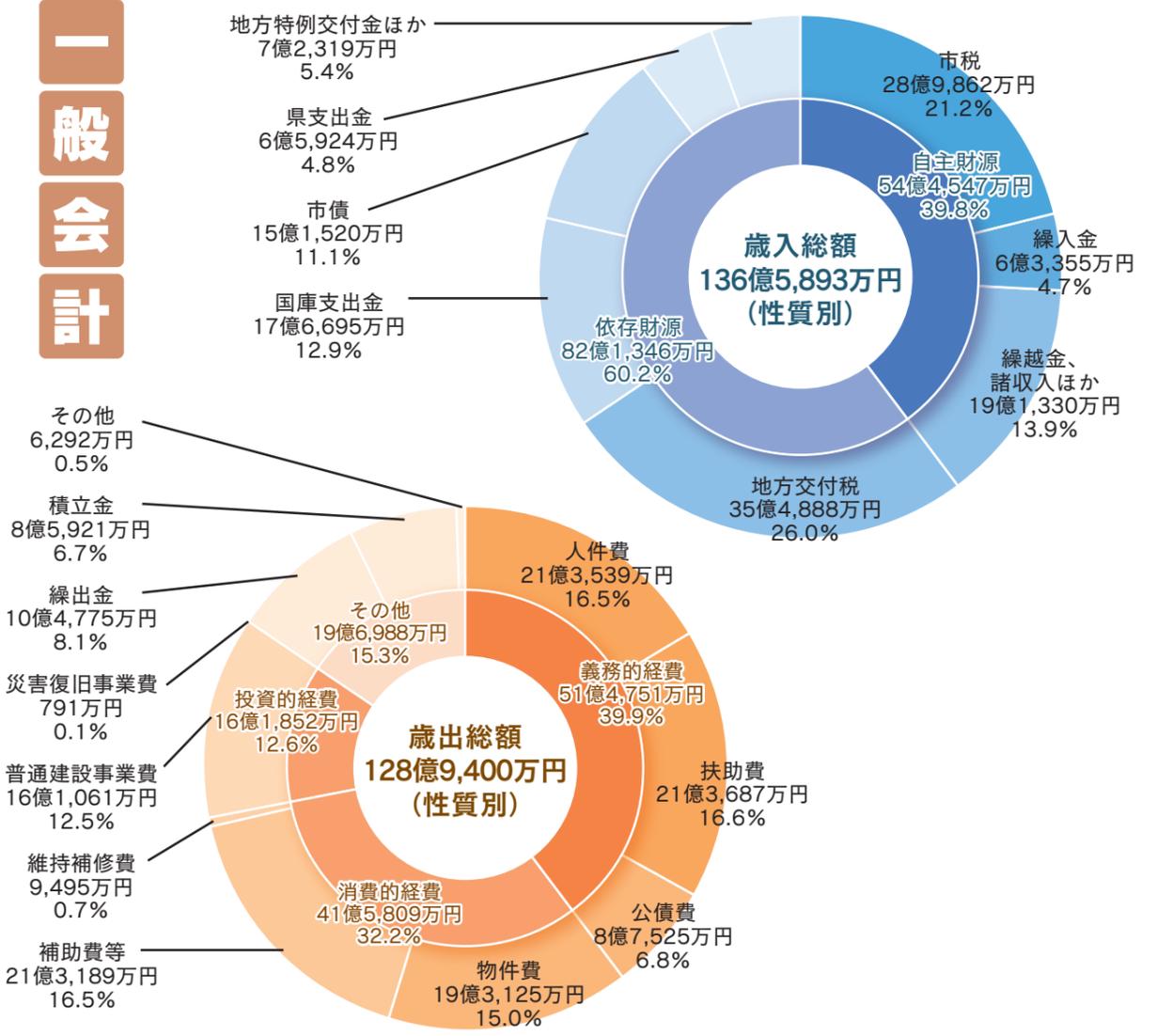
令和5年度の水道事業会計は、収支の差引きで8,778万円の黒字となり、当期純利益(税抜)は、5,323万円となりました。

下水道事業会計

資本的収支(税込)				収益的収支(税込)			
項目	収入済額	項目	支出済額	項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	1億9,718万円	支出合計	6億1,119万円	収入合計	9億0,517万円	支出合計	7億2,813万円
企業債	1億0,860万円	建設改良費	2億2,330万円	営業収益	1億4,326万円	営業費用	6億8,662万円
出資金	3,056万円	企業債償還金	3億8,789万円	営業外収益	7億6,191万円	営業外費用	4,151万円
負担金・その他	5,802万円	その他	0円	特別利益	0万円	特別損失	0万円

収支不足額4億1,401万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,321万円、当年度分損益勘定留保資金2億3,808万円、減債積立金取崩額1億0,150万円、当年度利益剰余金処分額6,122万円等で補てんしました。

令和5年度の下水道事業会計は、収支の差引きで1億7,704万円の黒字となり、当期純利益(税抜)は、1億6,383万円となりました。



入湯税、都市計画税、地方消費税交付金の使途

市税のうち、目的税である入湯税、都市計画税及び平成26年4月1日からの消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金(社会保障財源化分)の使途について、お知らせします。

○入湯税
 入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設や消防活動並びに観光の振興(観光施設の整備を含む)に要する費用に充てるための税です。

○令和5年度市税収入の内訳

固定資産税	13億6,497万円
市民税	10億1,358万円
市たばこ税	1億9,740万円
都市計画税	1億6,061万円
入湯税	8,022万円
軽自動車税	8,184万円
合計	28億9,862万円